

## 市町村における食品ロス削減取組一覧

令和3年8月4日調査時点

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
北九州市	「残しま宣言」の周知	H27	継続中	市民が実践できる食品ロス削減の取組を「残しま宣言」(3切り運動や賞味・消費期限の理解等を含む)として、ホームページやていたんプレス等で周知する。
	リデュースクッキング講座	H24	継続中	生ごみ排出を減らす調理方法や余った食材を活かす調理方法を学ぶ料理講座を開催する。
	小学生向け啓発事業	H28	継続中	小学4年生対象の「環境センターによる出張授業」内で、残しま宣言について記載した下敷きを配布し啓発を行う。
	未就学児向け啓発事業 (紙芝居及び紙芝居動画DVD)	H29	継続中	好き嫌いや食べ残し等を題材とした紙芝居及び動画を作成し、5、6歳児の在籍する幼稚園等へ配布し、読み聞かせを行うことで啓発する。
	冷蔵庫クリーンアップ(毎月19日)	H29	継続中	定期的に冷蔵庫を清掃し、庫内の食材を確認することによって、過剰な買い物や期限切れ等による食品の廃棄を減らす取組みを実施する。
	宴会シーズンに向けた街頭啓発	H29	継続中	JR小倉駅構内にて、宴会等の外食時の取組例を記載したリーフレット等を配布し「食品ロス削減」を呼びかける。
	食品ロス情報ホームページ	H30	継続中	市民に分かりやすく情報提供するため、本市独自のHPを作成(H30年度)し、公開中(R1.5月～)。
	「食品ロスダイアリー」の活用	R2	継続中	市民モニター(約200名)に4週間(又は2週間)、ダイアリーを記録してもらうことで、家庭での実態把握(「見える化」)と削減への行動を促し、内容分析により今後の対策を検討する。
	市広報誌による周知・啓発		継続中	市広報誌に食品ロス削減に関する記事を適宜、掲載し、周知・啓発を行っている。
残しま宣言応援店の募集、広報等	H27	継続中	食べ切りを行った来店者への「食べ切り特典」付与や「提供量の調整」等を行う飲食店等を募集・登録し、ホームページで広報する。	

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
北九州市	事業者向けのごみ削減に関する出前講演等の実施	H29	H29	各種事業者団体・企業等を訪問し、本市の事業系ごみ（食品ロス含む）の減量化・資源化の指導・啓発を行う。
	残しま宣言応援店食べ切りキャンペーン	H28	H29	参加店舗で食べ切って応募するとエコグッズが当たるキャンペーンを実施。
	小売事業者との協定締結	H29	継続中	食品ロス削減を推進するとともに、レジ袋お断り率80%以上を目標とした「食品ロス及びレジ袋の削減に向けた取組に関する協定」を平成30年3月に小売事業者7事業者（注）及び市民団体2団体と締結。 （注）イオン、エフコープ、サンリブ、西鉄ストア、ハローデイ、マックスバリュ、マルキョウの7小売事業者（但し、マックスバリュはイオンにR2.9経営統合）
	「期限切れ食品」削減キャンペーン	H30	継続中	協定締結小売事業者と連携し、期限の近い商品に貼られた割引シールを集めて応募するとエコグッズが当たる「期限切れ食品」削減キャンペーンを実施。
	「食品ロス削減サポーター」登録制度	R2	継続中	企業・団体に宴会時等で積極的に食品ロス削減に取り組んでもらうため、登録制度を創設。
	廃棄物管理者責任者講習会	H27	継続中 (R2は中止)	事業系ごみの一層の減量及び適正処理を図るため、事業所等の廃棄物管理者責任者を対象に講習会を開催し、生ごみの減量化と食品ロス削減等について啓発を実施。
	フードバンク活動への支援	H28	継続中	北九州市で活動するNPO法人フードバンク北九州ライフアゲインが主催するフードドライブキャンペーンを広報面で支援。
福岡市	福岡エコ運動事業の実施	H27	継続中	市内で食品ロス削減に取り組む店舗を福岡エコ運動協力店として登録、支援するとともに、店舗を利用する消費者に対し、食べ残しの削減等食品ロス削減に関する啓発を実施している。
	市広報誌での呼びかけ	H27	継続中	市広報誌に食品ロス削減に関する記事を掲載し、啓発している。
	フードバンク活動の支援	R1	継続中	市内で活動中のフードバンク団体である「フードバンク福岡」と共働事業を実施、食品関連の事業所へ対しフードバンク活用を推進している。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
福岡市	食品ロス削減効果検証に係る協定	R2	継続中	フードシェアリングアプリ「TABETE」を運営する株式会社コークッキングと協定を締結(R2.4.24)。飲食店等に対し、TABETEの普及啓発活動を実施している。
	福岡市事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業(気象予測にもとづいた福岡市版需要予測情報活用による食品ロス削減実証実験)	R2	継続中	事業系ごみの発生抑制・再利用・資源化を推進する研究に対し、その費用の一部を補助する事業で、R2年度補助分については食品ロス削減をテーマに募集。その結果、一般財団法人日本気象協会の研究が採択され、気象情報を用いた商品需要予測サービス「売りドキ!予報」を用いた食品ロス発生抑制の実証実験を行っている。
	Fukuokaいーとプロジェクト	H29	継続中	食品ロス削減を推進するために、食材使い切りレシピ紹介、水切り動画公開などを通じて啓発を実施している。
	フードドライブの実施	R2	継続中	公共施設等において常設の「フードドライブスポット」を設置し、未利用食品を有効活用し、食品ロス削減に取り組む。
	出前講座の実施	H30	継続中	市民を対象に公民館等で食品ロス削減についての講座を実施
	エコクッキング		継続中	市民を対象に調理を通じて食品ロス削減についての講座を実施
	食品ロスダイアリー	R3	新規	ごみについて学習した小学4年生を対象に、家庭での食品ロスを記録することで食品ロス削減を促す「食品ロスダイアリー」を作成・配付し、食品ロスに対する理解を深め、意識の醸成を図る。
大牟田市	イベント時における周知啓発	H30	継続中	クリーンキャンペーン、エコタウンフェア、食育フェア時に啓発ブースを設置し、啓発グッズやチラシを配布することで、市民の関心を高めることとしている。
	講習会等での周知啓発	R2	継続中	生ごみ堆肥化講習会や出前講座等において、食品ロスの現状や対策について周知・啓発を行っている。
	環境学習時を活用した周知啓発	H29	継続中	小学4年生を対象とした「環境学習」の中で、3Rの行動事例として、食品ロスの削減につながる「食べ残さないこと」を紹介するとともに、食ロスに関連した資料を用い、現状や対策について啓発している。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
大牟田市	食べ物余らせん隊への登録を促進	H28	継続中	飲食店や、小売店を対象とした、訪問による周知啓発に取組み、あわせて福岡県が募集する「食べもの余らせん隊」への登録を促進している。
	市広報誌による周知・啓発	H30	継続中	市広報誌に食品ロスの現状と対策について啓発し、「食べきり運動」を推進している。
	FMたんとを活用した周知啓発	H28	継続中	大牟田市、みやま市、熊本県荒尾市とその周辺地域が放送区域のFMラジオ放送を活用(出演)し、食ロスの現状や対策について周知・啓発している。
久留米市	「てまえどりキャンペーン」の実施	R2	継続中	市内スーパーやコンビニで、市が作成したポスターやPOPを掲示し、すぐ食べる場合には、消費者に商品棚の手前にある商品から購入することを促す啓発キャンペーンを実施する。(実施期間：10月1日～10月31日)
	市広報誌(広報くるめ)での呼びかけ	R2	R2	令和元年度実施した家庭系食品ロス組成調査の結果や「てまえどりキャンペーン」について掲載した。
	市広報紙(商工労働ニュース)での呼びかけ	R2	R2	事業所向けの市広報紙に、市や事業所が実施する食品ロス削減の取組みや食べ物余らせん隊について掲載し、現状や対策について啓発を行った。
	食の循環体験事業	H30	継続中	野菜の収穫体験からなるべくごみが出ない調理と、どうしても出てしまった生ごみを堆肥化する食の循環を、市民団体と久留米信愛短期大学と協働で実施した。R2は調理実習を中止したため、久留米信愛短期大学生が食品ロスをなくす野菜の使いきりレシピを考案し、そのレシピ動画の配信を行った。
	食べ物余らせん隊への登録を促進	H28	継続中	飲食店や、小売店を対象とした、訪問による周知啓発に取組み、あわせて福岡県が募集する「食べ物余らせん隊」への登録を促進している。
	家庭系食品ロス組成調査	R1	R1	国の支援を受け、家庭から排出されたごみ袋の開袋調査を実施。市民1日1人あたりの食品ロス量を算出した。
	事業系食品ロス実態調査	R2	R2	事業所から排出される食品ロスの発生量や発生要因等について、アンケート調査を実施。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
直方市	幼稚園・保育園等で開催している環境授業での呼びかけ		継続中	市内幼稚園等で開催している環境授業で、食べ残しや食品廃棄防止への呼びかけ。
	庁内イントラネットを利用した職員啓発		継続中	忘年会・新年会等での「30・10運動」実施を推進。
	30・10(さんまる・いちまる)運動	R2	R2	忘年会・新年会等での「30・10運動」実施を推進。
飯塚市	フードドライブの実施	R2	R2	市内商業施設においてフードドライブを実施し、家庭で消費できない食品を収集した。集まった食品はフードバンク団体に寄贈。
	30・10運動推進キャンペーンへの参加	H30	継続中	毎年、福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所より食品ロス削減を目的とした標記キャンペーンの実施について協力依頼を受け、参加している。
	食品ロス削減推進庁内会議の開催	H30	継続中	本市における食品ロス削減に向けて、関係各課で情報共有、意見交換を行う。
田川市	市内飲食系事業所への啓発物送付	H29	継続中	市内飲食店に啓発物(ポスターやコースター等)を送付し、食品ロスについて啓発している。
	市内小学校における環境教育	H28	継続中	市内小学校において環境教育としてごみ減量化の授業を行っている。
	生ごみ処理容器等の購入助成金交付	H18	継続中	生ごみ処理容器等の購入補助金をしている。
	広報等市の媒体による啓発	H22	継続中	環境特集号において食品ロスの記事を掲載している。
柳川市	市広報誌での呼びかけ		継続中	市広報誌に食品ロス削減に関する記事を掲載し、啓発している。
	出前講座の実施		継続中	市民を対象に公民館等で食品ロス削減についての講座を実施。
	職員啓発		継続中	忘年会・新年会等での「30・10運動」実施を推進。
	30・10(さんまる・いちまる)運動		継続中	忘年会・新年会等での「30・10運動」実施を推進。
八女市	食品ロス啓発資材配付	H30	継続中	食品ロスの削減を多くの人に啓発するため、大勢の市民が訪れるワクチン接種会場や確定申告会場で啓発資材(マスク)を配布します。また、商工会議所、商工会にも協力を得て市内の店舗でも啓発資材(マスク)を配布します。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
八女市	フードドライブの実施	H30	H30	八女市環境衛生協議会が行う環境啓発イベント内にてフードドライブを実施し、家庭で使い切れなかった食品を集めた。集まった食品は、八女市社会福祉協議会に寄贈。
	小学生向け啓発事業	R2	継続中	小学4年生対象の八女西部クリーンセンター、八女西部リサイクルプラザによる施設見学で、食品ロスについて記載したマスク、ティッシュを配布し啓発を行う。
筑後市	出前講座での住民に対する啓発	H28	継続中	出前講座で組成分析の結果や食品ロスの現状、対策について啓発している。
	広報紙での啓発		継続中	燃やすごみの組成分析の結果や対策等について啓発している。
	市内飲食店等に対する啓発ポスター掲示依頼	R1	継続中	食品ロス削減の啓発ポスターを作成し、各店舗に掲示依頼している。
	啓発グッズ(30・10運動コースター)配布	H29	継続中	食べ切り運動(30・10運動)推進の啓発グッズとしてコースターを作成、配布している。(筑後市環境衛生協議会作成)
	市内小学校(11校)4年生の施設見学及び環境学習での啓発		継続中	小学4年生の施設見学(八女西部クリーンセンター、リサイクルプラザ)時及び環境学習において食品ロスの現状、組成分析の結果、対策等を啓発している。
行橋市	飲食店を巡回し食品ロスの呼びかけ	H30	H30	忘年会シーズン前に飲食店を巡回して、食品ロスに関するパンフレットを配布し、啓発を行った。
豊前市	市広報・HPでの呼びかけ	R1	継続中	広報では、年2回、歓送迎会等の飲食会時期と食品ロス削減月間時期に合わせて食品ロス記事の掲載をしている。HPは、「福岡県食品ロス削減県民運動」関連を掲載している。
中間市	ごみ組成調査の実施	H27	継続中	構成市町(中間市・遠賀郡4町)より収集されたもえるごみを市町ごとに無作為に回収し、食品廃棄物の発生状況(量や種類)を調査している。
小郡市	自治会や小中学校での講演		継続中	毎年、市内の自治会や小中学校に出向き、講演を実施している。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
筑紫野市	市SNSでの情報発信	H29	継続中	食品ロスに関する情報発信など
	市広報誌での呼びかけ	H30	継続中	食品ロス対策などを紹介
	ダンボールコンポスト講座	H29	継続中	ダンボールコンポスト講座内で、食品ロスに関する情報発信 (継続中 R2はコロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止)
春日市	フードドライブの実施	H30	継続中	市環境フェア、福岡都市圏南部工場住民開放デーなどのイベントで実施。 職員向けに実施。(年2回) 集まった食品は、フードバンク団体に寄贈。
	広報誌に掲載	H28	継続中	年に1度、食品ロスに関する記事を載せている。 市の公式SNSに記事掲載(不定期)
	組成調査	R1	R1	5年に1度を実施する組成調査時にごみに占める食品ロスの発生割合を調査している。
大野城市	市広報紙での呼びかけ	R1	継続中	コロナ感染症により行っておりません。令和3年度は今後のコロナ感染症の状況を注視し、事業展開について検討中である。
	エコクッキングの紹介	H30	継続中	コロナ感染症により行っておりません。令和3年度は今後のコロナ感染症の状況を注視し、事業展開について検討中である。
	3010運動の実施	R1	R3	市内の飲食店に啓発グッズ(ポスター、三角柱POP、PRカード)を配布し啓発を行った。 ※令和3年度はコロナ感染症の状況を注視し、事業展開について検討中である。
宗像市	フードドライブの実施	R1	継続中	市役所の窓口で、フードドライブを実施し、家庭で使い切れなかった食品を集めた。 集まった食品は、フードバンク団体に寄贈。
	市広報誌での呼びかけ	R1	継続中	定期的に食品ロスに関する記事を掲載し、対策等を啓発している。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
太宰府	出前講座における食品ロスの呼びかけ	H28	継続中 (R2～休止中)	自治会や地域の婦人会等の要請にて開催しているごみ減量に関する出前講座の中で、食品ロスに関する情報を発信している。 ※令和2年4月以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため出前講座を休止している。
	市広報誌や市ホームページによる啓発		継続中	年に数回、市広報誌にごみ減量や食品ロスに関する記事を掲載し、啓発している。市ホームページに「食品ロス」削減の取り組みとして、30・10(さんまる・いちまる)運動を実施していることを掲載し、啓発している。
古賀市	出前講座における市民への啓発		継続中	「はじめよう!ごみ減量大作戦!!」講座へ申し込みのあった団体に対し行うごみ減量についてのお話しの中で、食品ロスについての現状説明、家庭でできる取組みなどについて説明、啓発を行っている。
	市役所市民ホールにて展示による啓発		継続中	6月の環境月間や10月の食品ロス削減月間にあわせた期間に、市役所市民ホールに展示パネルを設置し、食品ロス削減について啓発を行っている。
	事業所訪問時の3010運動推進	H29	継続中	事業系ごみの適正排出のため、多量排出事業所を中心に訪問をしヒアリングなどを行うなかで、福岡県作成の「食品ロス削減」パンフレットをもとに3010運動の推進を行っている。
	市広報誌へ記事掲載による啓発		継続中	毎年、忘年会シーズンに市広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し、食品ロスの現状、対策について啓発している。
	家庭系食品ロス組成調査	R2	R2	国の支援を受け、家庭から排出されたごみ袋の開袋調査を実施。市民1日1人あたりの食品ロス量を算出した。
	てまえどりキャンペーンの実施	R3		市内スーパーやコンビニで、市が作成したポスターやPOPを掲示し、すぐ食べる場合には、消費者に商品棚の手前にある商品から購入することを促す啓発キャンペーンを実施予定。
うきは市	30・10(さんまる・いちまる)運動		継続中	宴会開始30分と終了前10分は席に戻って料理を楽しんで食べ残しがでないようにするための活動を推進。



市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
うきは市	ダンボールコンポスト講座		継続中	ダンボールコンポスト講座内で、食品ロスに関する情報発信
	出前講座での住民に対する啓発		継続中	出前講座で食品ロスの現状や対策について啓発している。
	生ごみ処理容器等の購入助成金交付		継続中	生ごみ処理容器等の購入補助金をしている。
嘉麻市	市広報誌での呼びかけ	H29	継続中	毎年10月の広報誌に食品ロスに関する内容を掲載している。
	市主催のまつりでの広報・啓発	H29	継続中	毎年、市主催のまつりにて、食品ロスに関する広報・啓発のためのポケットティッシュの配布を行っている。(今年度は新型コロナウイルスの影響により中止。)
朝倉市	市広報誌での呼びかけ	不明	継続中	毎年、忘年会シーズンに市広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し、食品ロスの現状、対策について啓発している。
みやま市	3010運動	H29	継続中	宴会開始30分と終了前10分は席に戻って料理を楽しんで食べ残しがでないようにするための活動。
糸島市	ホームページでの掲載		継続中	食品ロスを減らすための工夫の例を掲載している。
	市広報誌での呼びかけ		継続中	年度末など歓迎会や送別会などが増える時期に、食品ロスに関する記事を掲載している。
	出前講座		継続中 (R2は中止)	毎年ごみの減量化をテーマの一つのトピックとして出前講座を行っている。
	食品ロス削減家計簿手帳	R2	継続中	市民の食品ロス見直しのため、食品ロス削減家計簿手帳を窓口にて配布している。
那珂川市	市広報誌での呼びかけ	R2	継続中	毎年、市広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し、食品ロスの現状、対策について啓発している。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
那珂川市	ホームページに掲載	R3	継続中	食品ロスについて掲載
宇美町	出前講座	R1	R1	「家庭で簡単にできる!ごみの減量化」の中で食品ロスについて周知した。
志免町	広報誌・ホームページでの呼びかけ	H29	継続中	食べ物余らせん隊の募集、食品ロスに関する記事の掲載
粕屋町	広報誌での呼びかけ	H30	継続中	広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し、啓発している。
芦屋町	ごみ組成調査の実施	H27	継続中	構成市町(中間市・遠賀郡4町)より収集されたもえるごみを市町ごとに無作為に回収し、食品廃棄物の発生状況(量や種類)を調査している。
水巻町	ごみ組成調査の実施	H27	継続中	構成市町(中間市・遠賀郡4町)より収集されたもえるごみを市町ごとに無作為に回収し、食品廃棄物の発生状況(量や種類)を調査している。
	町広報誌での呼びかけ	H30	継続中	毎年、忘年会シーズン又は10月に市広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し、食品ロスの現状、対策について啓発している。
	食品ロス削減月間周知ポスター掲示		継続中	毎年、消費者庁 消費者教育推進課 食品ロス削減推進室より送付される食品ロス月間ポスターを掲示している。
	「食品ロス削減家計簿手帳」の窓口配布	R2	継続中	公益財団法人あしたの日本を創る協会の手帳を窓口で配布している。
岡垣町	ごみ組成調査の実施	H27	継続中	構成市町(中間市・遠賀郡4町)より収集されたもえるごみを市町ごとに無作為に回収し、食品廃棄物の発生状況(量や種類)を調査している。
遠賀町	ごみ組成調査の実施	H27	継続中	所属する一部事務組合が市町ごとに収集した燃えるごみの組成を調査している。その調査結果を環境審議会で話し合う議題にあげたり、広報等での啓発に活用したりしている。
桂川町	町広報誌での呼びかけ(12月号)	R3	R3	例年、忘年会シーズンに町広報誌に食品ロスに関する記事を掲載していたが、コロナ禍での自粛ムードが続くことを予期して啓発をするかどうかを柔軟に対応する。

市町村	事業名称	開始年度	終了年度	内容
筑前町	町広報誌を使った啓発活動	R2	継続中	忘年会シーズンに入る12月に、町広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し、食品ロスの現状、対策の啓発を行う。
大刀洗町	ホームページに掲載	H29	継続中	食品ロスについて、「3010運動」についての掲載。
大木町	町内全域での生ごみ分別	H18	継続中	調理くずや食べ残しを分別してもらうことで食品ロスしている現状を把握しやすく、自然と食品ロスの量が減っている。
香春町	啓発資材	H30	継続中	町内の飲食店に福岡県の食品ロス削減啓発用ポケットティッシュを配布。 (R2は、新型コロナウイルス感染症による大規模会食自粛のため、配布中止)
糸田町	町広報誌での呼びかけ	H30	継続中	町広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し、食品ロスの現状、対策について啓発している。
川崎町	庁舎内メールでの呼びかけ	H28	継続中	毎年、忘年会シーズン等に川崎町職員へ30・10運動への参加を依頼する呼びかけを庁内メール等を使い推進している。
赤村	村広報誌等でのPR	R1	継続中	毎年、忘新年会シーズンを前に村広報誌に啓発記事を掲載、その他にも課窓口で啓発用のチラシを設置し住民への啓発を行っている。
吉富町	町広報誌での3010運動の呼びかけ	H30	継続中 (R2は中止)	毎年、忘年会シーズンの12月号町広報誌に3010運動の呼びかけを行い、食品ロスに対しての意識づけを行っている。